

ふりゅう  
風立



〔校訓〕

風に向かって立つ

## 言葉について考える

校長 上村 勉

最近、生徒のみなさんの会話の中で「今の発言ちょっとキツイな」ということに出遭うことがあります。表情を見ると会話している人はみな笑顔ですが「果たして大丈夫だろうか…」と心配になります。道徳の授業でも学習していると思いますが、言葉の大切さについてもう一度考えたいものです。



当然、人間は一人では生きられません。人間関係を維持しながら生きてゆく社会的動物であるとも言われます。この関係をつくり、潤滑剤の役目を果たしてくれるのが言葉です。「おはよう」、「こんにちは」、「ありがとう」、「すみません」、「いってらっしゃい」、「おかえりなさい」、「おつかれさま」など日常会話を交わすことで、まるく和やかな雰囲気をお互い感じることができます。これに、やさしい眼差し、柔和な笑顔、穏やかな挙措動作などのしぐさが加われば、親しみが深くなり、他人を思いやる「心のゆとり」がもてると思います。

20世紀半ば以降、自動車社会の発展、コンピューター時代を迎えていわゆる文明機器の開発・実用化で生活の利便を得ることができるようになりました。そして、現在、Society5.0社会の到来によって「超スマート社会」と言われるような便利な世の中になりつつあります。

かつて、アメリカのある経営評論家が「ハイテクノロジー（高度技術）はハイタッチ（高い人間関係）と同じである」と提唱し、技術の進歩によって人間関係は失われないと述べていましたが、相対的に人間関係が乾き、希薄になることは否めないと感じる今日この頃です。「文明の進歩」→「人間関係の希薄」→「言葉のやりとりの減少」という言葉の砂漠化の傾向が進んでいると思わざるを得ません。

スーパーは棚販売、料金はバーコードで処理、ひと言も交わさなくても用は足りる現在の世の中です。公共交通機関の切符はほとんど自動販売、自動改札機運賃表示板は高所にあってわかりにくいです。バスや電車の案内は録音テープと経営効率優先で人間対人間の交流はありません。家に帰ればそれぞれがスマホやテレビと御対面で言葉はなく、都市部の病院や保健所では問診は少なく、検査と計測器の結果を告げられて終わり……。3時間待ちで3分診療では医者と患者の会話は無い。しかし、このような社会背景を嘆くのではなく、与えられた条件としてこれからいかに生きてゆくかを考え、よりよい世の中へ改善できるようにしていきたいものです。

以前、とある病院で『ひとつの言葉』という詩に出会いました。

「ひとつの言葉で喧嘩して、ひとつの言葉で仲直り、ひとつの言葉で頭が下がり、ひとつの言葉で笑い合い、ひとつの言葉で泣かされる、ひとつの言葉はそれぞれに、ひとつの心を持っている。きれいな言葉はきれいな心、優しい言葉はやさしい心、ひとつの言葉を大切に、ひとつの言葉を美しく。」

私たち人間は言葉という素晴らしい、そして優れた文化をもっています。心の中は目には見えませんが、言葉によって目には見えない心の中を表現できます。

さて、私達人間は舌刀（ぜつとう）という凶器を持っています。「舌の刀」と書くそのままに、まるで刀のごとく相手を傷つけ時にはグサッと切り裂く…。何気なく発した言葉でも誰かのことを傷つける場合があります。反面、誰かに温かく声をかけてもらったり、柔らかみのある言葉を聞いたりすると、何だかこちらも優しい気持ちになります。言葉には力があります。心があります。ならばこそ、常に言葉の使い方には気を付けたいものです。



## 中種子中生の活躍～表彰おめでとう～

### ☆熊毛地区駅伝競走大会

3年 濱田 結心(2区1位)

### ☆熊毛地区中体連新人大会

- ◇柔道 男子団体1位  
男子個人1位 中崎 歩夢, 男子個人3位 平岩 大空  
女子団体2位  
女子個人2位 久木原明菜, 女子個人3位 福 佳莉奈
- ◇剣道 男子個人1位 永濱 琉士  
女子個人1位 武 友佳, 3位 提 侑那, 岩崎 日歩
- ◇ソフトテニス 男子団体1位  
男子個人3位 中野 漣 ・東園 隆幸  
女子団体2位  
女子個人1位 本藏 琉那・山口 莉奈
- ◇卓球 男子団体2位  
男子個人3位 大野 虎太, 男子個人5位 長田 智大  
女子団体2位
- ◇女子バレー 2位
- ◇軟式野球 2位

☆町優秀選手賞 柔道部 徳永 丈, 中崎 玲央, 鎌田 馨汰, 浦門 天真, 南 侑冶, 米澤 伊織  
福 佳莉奈  
陸上部 進藤 若狭, 徳永 芽菜, 山下 愛蘭, 山口 柚希



## 命の大切さを学ぶ教室

10月6日(木)に、黒木祥子さん(公立高校教諭)を講師として、「命の大切さを学ぶ教室」を開催しました。黒木さんは、お母様を交通事故で亡くされ、その体験についてお話をくださいました。生徒たちは真剣に聞き入り、涙する姿も見られました。心を打つお話で、生徒も職員も命の大切さについて、深く考えることができました。



【話に聞き入る生徒たち】

## 11月の行事予定

※地域が育む「かごしまの教育」県民週間

- ◎11月1日～7日 → 学校開放1日, 2日, 4日, 7日
- 1日(火) 生徒会・部活動卒業アルバム写真撮影
- 2日(水) 3年実力テスト
- 4日(金) 漢字検定, 英検 I B A
- 8日(火) 学校集金(～10日)  
中種子養護学校との交流  
家庭学習強調週間(～16日)  
部活動停止期間(～16日)
- 11日(金) バレエ鑑賞(こり～な, 午後)
- 12日(土) 土曜授業日, 生徒総会
- 15日(火) 期末テスト(～17日), 避難訓練
- 18日(金) 3年PTA, 進路・キャリア説明会
- 25日(金) 町学校音楽祭 Inこり～な  
(3年生出場: 録画のみ)
- 28日(月) 教育相談・3年三者相談(～12/2)
- 29日(火) 全校朝会, PTA運営委員会

## 「かごしまの教育」県民週間♪

[11月1日(火)～7日(月)]

9時45分から16時05分まで、自由参観ができます。感染症対策にご協力いただき、生徒たちの様子をご覧に、中種子中学校へぜひお越しください。

## 第20代生徒会三役決定

10月21日(金)に行われた生徒会役員改選により、新生徒会長に、山口碧さん(2-1)が、副会長に、進藤若狭さん(2-1), 里園謙吾さん(1-1)へ任命書が手渡されました。中種子中学校の伝統を守りつつ、第20代生徒会として、新たな歴史を作り上げてください。